

平和教育手引書より

総合教育会議資料

① 小学校での指導について

1 目的

自分と同じ考えや異なる考えにも耳を傾け、友だちの考えを理解するとともに、平和に対して自分の考えを持つことができる。

2 事前の準備

【事前アンケートの実施と集約】

「平和」という対話のテーマに対して、主体的に考えようとする雰囲気を作るために、事前にアンケートを実施する。アンケートは児童が考える「平和なこと」、「平和ではないこと」を自由な発想で5つ挙げ、授業の導入場面で活用する。そのため、アンケートの結果について集約しておく。

(アンケートの例)

平和ってどんな感じ？

名前 ()

「平和」という言葉を聞いて、何を思いうかべますか？

身の回りの出来事や、ニュースで聞いたことなど、思いつくものを5つ書きましょう。

「平和ではない」という言葉を聞いて、何を思いうかべますか？

身の回りの出来事や、ニュースで聞いたことなど、思いつくものを5つ書きましょう。

総合教育会議資料

(平和ナガサキ中学生版 26～27ページ)

10 未来へ・・・私にできること

稲佐山中腹からの現在のパノラマ写真



皆さんは、小学校・中学校の9年間に渡る平和学習を通して、平和の大切さ、命の尊さを学んできました。現在の長崎は、原爆被害による大きな被害をたくさんの方々の努力で乗り越えて、美しい国際都市として生まれ変わりました。

この長崎も含めた平和な世界を持続していくために、またさらに発展させていくために、これから未来を生きる「私に何ができるか」を考えてみましょう。

- 1 9年間の平和学習で心に残っていることを書き出してみよう。
(平和ナガサキに残っている記録をもとに振り返ってみよう)

- 2 あなたが思う「長崎の魅力」をたくさん見つけてみよう。



あなたのまわりにいるいろんな人にも聞いてみよう

